

# 旧青根中学校校舎 の利活用

-広域的な視点からの提案-



3班 篠原・林・和田・岡崎

# 旧青根中学校校舎 の利活用

-広域的な視点からの提案-



3班 篠原・林・和田・岡崎



# 目次

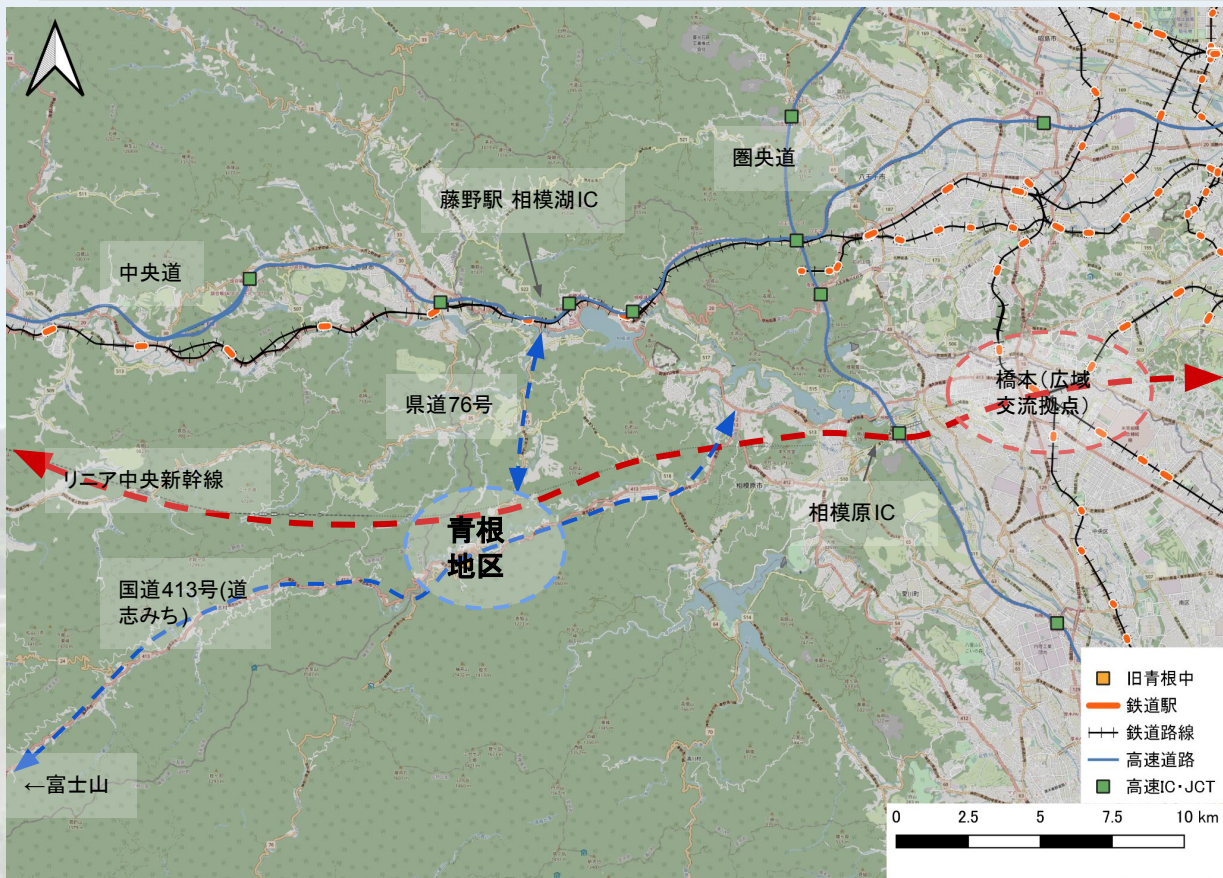
1. 青根地区の現状分析
2. 旧青根中学校利活用のコンセプト
3. 旧青根中の整備の方針と具体的な活用案
4. 周辺地区の整備の方針と具体的な活用・連携案
5. 実現に向けたロードマップ

# 1.青根地区の現状分析

- ・広域的位置づけ
- ・道志みちを介した地域資源(サイクリング・ツーリング, キャンプ)
- ・県道76号線を介した地域資源(藤野地区のアートの取り組み)
- ・中山間地域としてのポテンシャル



# 青根地区の広域的位置づけ



・リニアの開通により広域交流拠点となる  
ことが期待される橋本地区から約  
25km

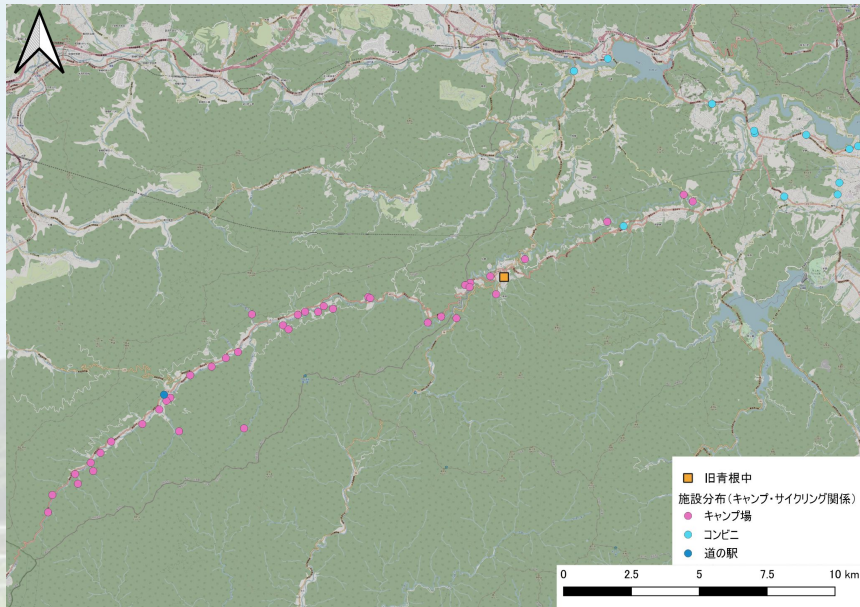
・国道413号線(橋本/相模原IC/富士山  
方面)と県道76号線(藤野/相模湖IC方  
面)によるアクセス

←青根地区周辺の広域的アクセス

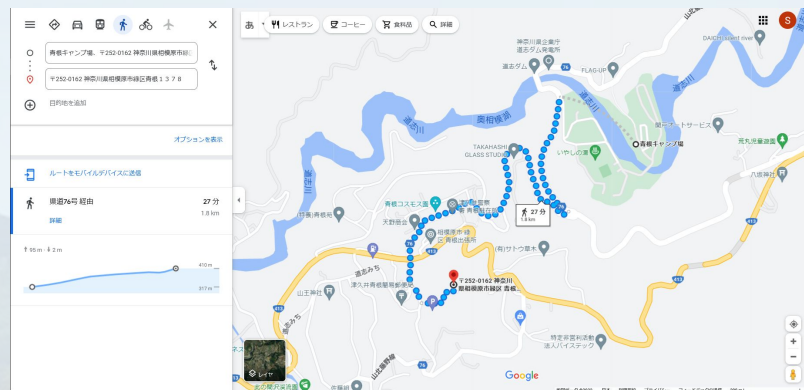




# 道志みちを介した地域資源(キャンプ)



・道志みち沿いにはキャンプ場が30か所以上連なり関東有数のキャンプ場密集地となっている。



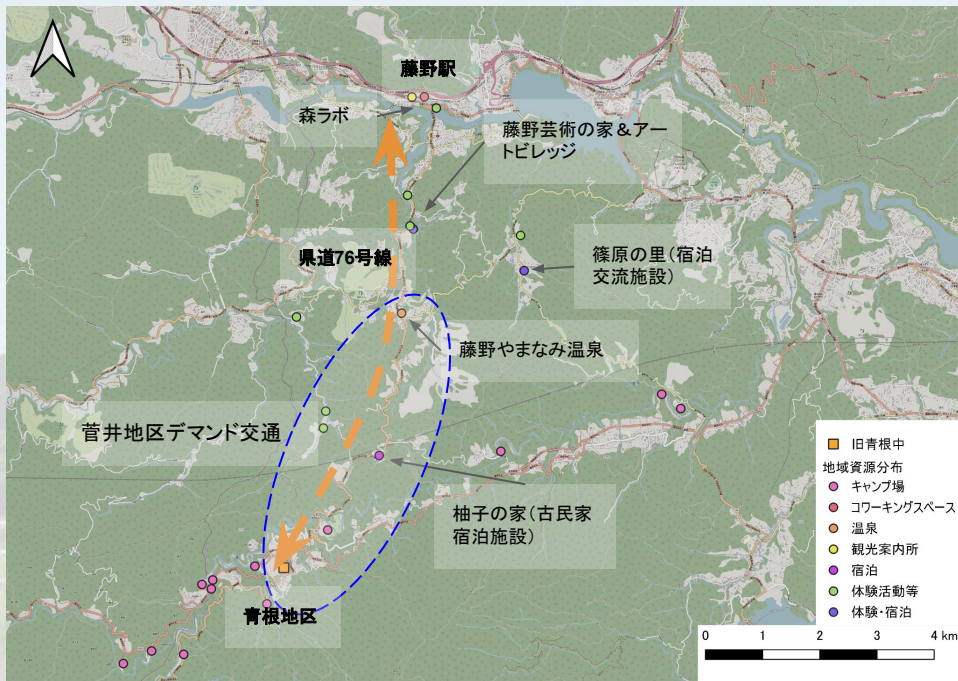
←  
道志みち沿いのキャンプ場分布各種キャンプ場  
検索サイトの情報を基に作成

↑  
中心部に最も近いキャンプ場からのアクセ  
ス2キロ弱離れており起伏も激し  
い。Google Mapより。

## 課題

・キャンプ場と青根地区の中心部には距離があり、キャンプ客が地域住民と接する機会や、地区に足を運ぶきっかけがない  
→**地区に行こうと思う目的が必要**

## 県道76号線を介した地域資源(藤野でのアートの一取り組み)



- ・青根から藤野へ至る県道76号線沿いに立地する地域資源の分布
- ・アート関連の体験型施設などが立地
- ・藤野地区の集客拠点となる藤野芸術の家、藤野やまなみ温泉が立地

→青根地区へのルート上に位置しており、アート資源で連携した活性化を行うことができるのではないかと

藤野～津久井(青根)にかけての地域資源の分布県道76号線沿いなどの藤野南部に地域資源が分布しており青根地区活性化との連携が期待される[https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000797328.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000797328.pdf)を基にして作成



# 県道76号線を介した地域資源(藤野でのアート取り組み)

## ■藤野町におけるアートのまちづくり

1986～: 芸術村構想

1990年代～: 野外環境彫刻(芸術の道)の設置や藤野芸術の家(体験製作等)の整備  
→約35年にわたってアートによる地域活性化、芸術家の移住に取り組んできた

※2021～: 森のイノベーションラボ FUJINO(シェアオフィス等)の設置



← 藤野町におけるアートの取り組みの一つ、野外環境彫刻を設置した芸術の道の整備。<https://info-fujino.com/hiking/237.html>より。

↓ 藤野町におけるアート拠点施設である藤野芸術の家宿泊施設のほか、観光客向けの体験工房等を提供している。<https://www.e-sagamihara.com/playng/playing-65/>より。



↑ 森ラボFUJINO.SDGs with ARTをコンセプトに coworkingスペースの提供や地域課題に関連した様々なプロジェクトを進めている。<https://morilab-fujino.jp/>より。

## 中山間地域の潜在的なニーズ

96.6%

農山村地域を極めて大切、  
大切と思う割合 (1)

都市化が進んでも農山村地域は  
依然として重要

62.7%

農山村地域を  
訪れなかった理由の内、  
「時間がなかった」の割合 (1)

都市から近ければ訪れてくれる  
加えて、PRも重要になる

Approx 10 min

品川駅から橋本駅までの  
リニアでの所要時間 (2)

都心部からのアクセスが大幅に改  
善される

→東京都心からアクセスが改善され、さらに気軽に訪れることのできる中山間地域として青根地区へのニーズがある。  
観光客を中心として地区外から人を呼び込むことによる地域活性化が可能であると考えられる。

(1) 国土交通省: 中山間地域に対する都市住民ニーズのマーケティング分析,  
[https://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/souhatsu/h17seika/9chu-sankan/09\\_nousui\\_04honpen3.pdf](https://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/souhatsu/h17seika/9chu-sankan/09_nousui_04honpen3.pdf)

(2) JR東海: FAQ | リニア中央新幹線, <https://linear-chuo-shinkansen.jr-central.co.jp/faq/>



## 2.旧青根中学校利活用のコンセプト

- ・コンセプト
- ・地域の人々の参加
- ・藤野地区との差別化・連携

# コンセプト



- ✓ 県道76号線と国道413号線が交差
- ✓ アート活動が盛んな藤野地区とのつながり
- ✓ サイクリングなどアウトドアな娯楽が盛んな道志みち周辺とのつながり



# コンセプト

青根地区のファンを増やす

そのためには…

確実に**立ち寄ってもらい**、  
魅力を発信する

そのためには…

✓ 「**長期的に滞在**」して  
もらう場

✓ 「**目的をもって訪れ**」て  
もらう場

※ 「休憩で立ち寄る」場は、  
通過点に過ぎない

## アーティスト・イン・レジデンス

1. アーティストを誘致することで、青根地区から多くの作品が生まれ、「**アーティストの活動の場**」として有名に。
2. 作品を介してアーティストと観光客、地域の人々が交流し、より「**人の集まる場所**」へ。
3. 青根を題材とした作品や芸術性の高い作品、SNS映えする作品がまちなかにも生まれ、「**芸術のまち**」として有名に。



## サイクルステーション

1. 整備工具を充実させ、カフェも併設することで、サイクリストの「**整備場所**」「**休憩場所**」に。
2. 作品を介してサイクリングコース沿い以外の青根の魅力を発見できる「**観光案内の場**」に。

# コンセプト

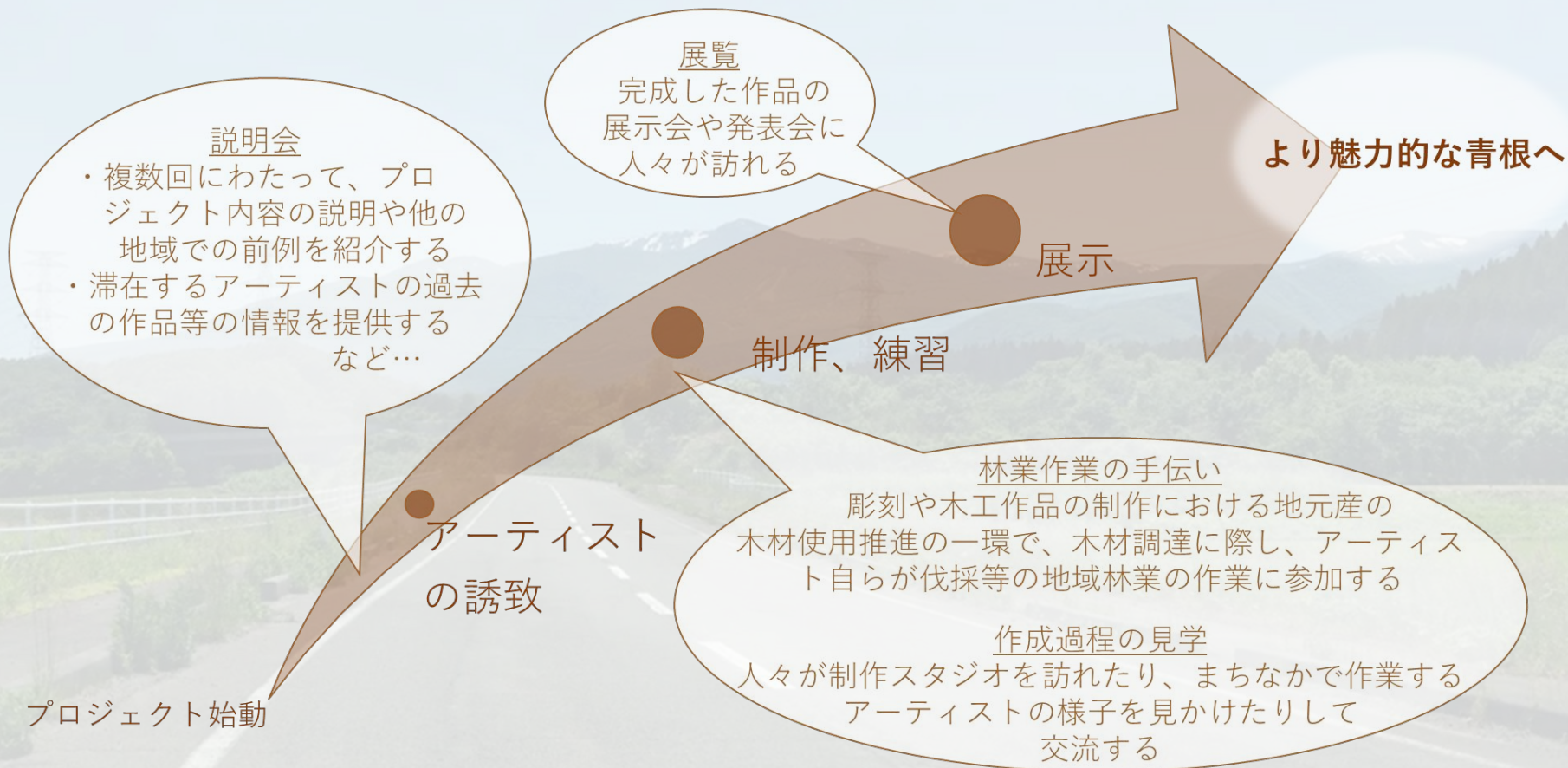


- ✓ 訪れる人々（観光客）の視点  
県道76号線沿いのアートをテーマにした周遊観光  
ツーリングでまちを、休憩でアートを満喫
- ✓ 芸術家の視点  
非日常的な環境に刺激を受けながらの制作活動
- ✓ 地域の人々の視点  
より強く、広いコミュニティの形成
- ✓ 青根地区の視点  
青根地区のファンの獲得





# 青根地区の人々との関わり



# 藤野地区との差別化

## 1. 学校を舞台にした制作活動

- ・ 黒板アート
- ・ 校庭でのパフォーマンス披露
- ・ 体育館での演劇
- ・ 学園ドラマ・映画・MVの撮影
- ・ 音楽室での楽器・ダンスパフォーマンス練習
- ・ プールの水を利用したアート作品

→より幅広いジャンルの制作活動が可能

## 2. サイクリングに関連したアート作品

- ・ 自転車ラックなどの設備
- ・ サイクリングコースの風景写真
- ・ サイクリストを描写した絵画

など



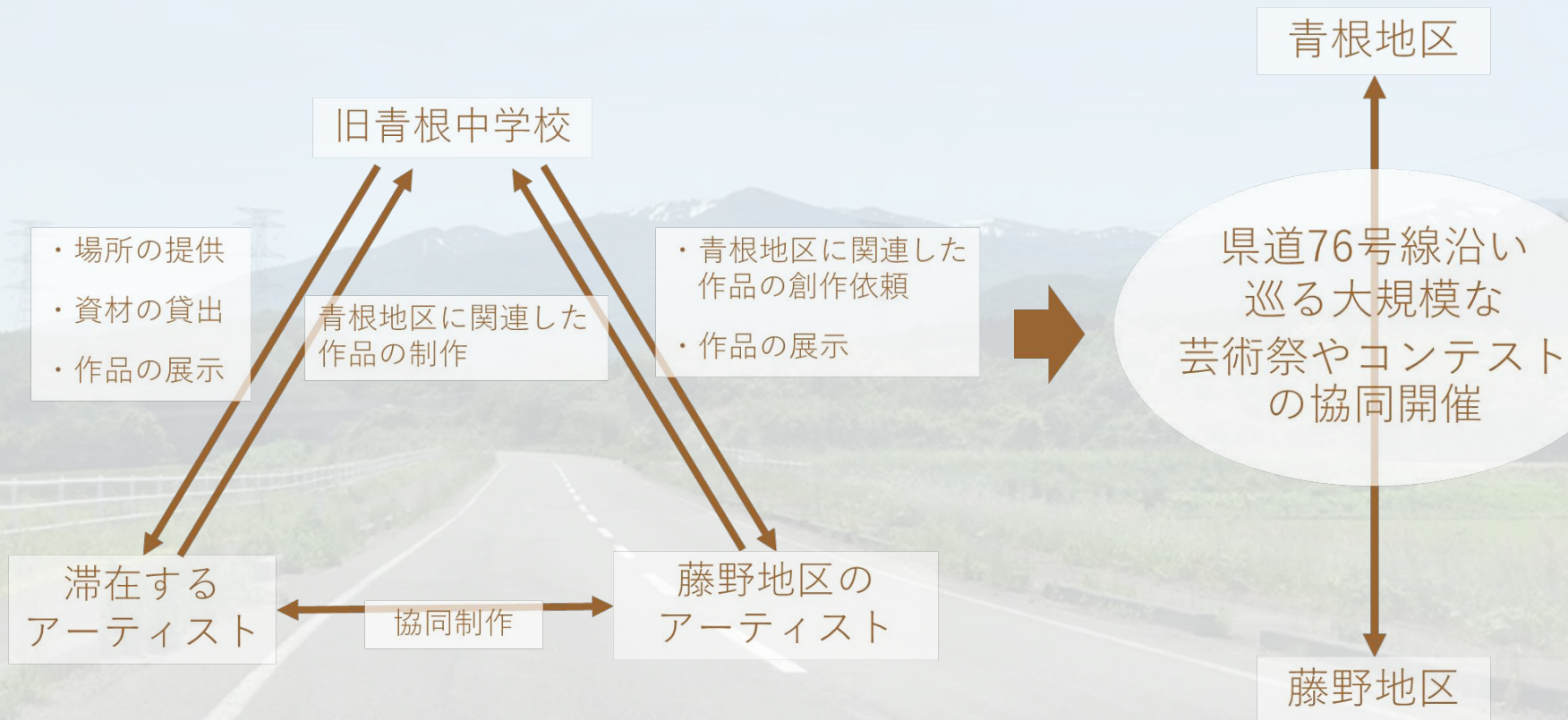
レスターシティの壁画  
(作者不詳)



ペナン島の本物の自転車を  
活用した壁画 (作者不詳)



## 藤野地区との連携





### 3.旧青根中の整備の方針と具体的な活用案



# アーティスト イン レジデンス

## 取り組み内容

- ・アーティストが作品を長期的に創作する際に、滞在できる空間を提供。



THE SWATCH ART PEACE HOTEL

副武ハウス

[http://dgbh.jp/magazine/do/post\\_19.html](http://dgbh.jp/magazine/do/post_19.html)

[https://colocal.jp/topics/lifestyle/local/20220412\\_148300.html](https://colocal.jp/topics/lifestyle/local/20220412_148300.html)

## 利活用する資源、具体的な整備

- ・中学校敷地内でアートスタジオとして利用していない部分を宿泊場所として利用。
- ・プールの横のシャワーを改装して滞在の際、使えるものにする。

## 地域住民との関わり

- ・アートの製作期間や地域の材料の調達の中で地域住民と交流していく。

## 実施主体

- ・相模原市(民間への依頼も視野に入れる)

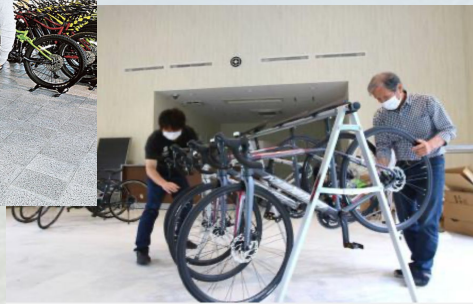
## ターゲット

- ・アーティスト

## 自転車を整備する部屋

### 取り組み内容

- ・サイクリストが休憩にきた際、休憩中に自転車を整備できる場所を設ける。



播磨中央公園サイクルステーション  
富士市サイクルステーション

<https://www.kobe-np.co.jp/news/odekake-plus/news/detail.shtml?news/odekake-plus/news/experience/202007/13517789>

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1028116.html>

### 利活用する資源、具体的な整備

- ・中学校の一階部分、校庭部分に自転車を置くことができ、整備できる空間を作る。

### 実施主体

- ・自転車を専門としている企業を誘致、サイクルステーションと共に経営を依頼する。

### ターゲット

- ・サイクリスト



# ウォールアート

## 取り組みの内容

・中学校の教室や廊、階段をキャンバス、展示空間に見立て、作品を描いたり展示したりする。



教室を使ったパラソルのアート  
<https://www.chibanippo.co.jp/news/local/501351>

## 利活用する資源、具体的な整備

・教室、廊下、階段の壁や天井

## 実施主体

・アーティスト  
主なターゲット  
・観光客

# サイクルステーション

## 取り組み内容

- ・青山地区に来るサイクリストが気軽に寄れる休憩場所として中学校を提供する。
- ・飲食スペースなど休憩できる場所を提供。



画像を等

草津サイクリングロード休憩所  
[https://satosibobu.at.webry.info/201704/article\\_1.html](https://satosibobu.at.webry.info/201704/article_1.html)

## 利活用する資源・具体的な施設

- ・中学校の一階部分を利用。
- ・休憩時にアートに気軽に触れられる場所へ。  
 (アートの展示室を見られたり、ワークショップに気軽に参加できる場所へ。)
- ・アーティストの滞在場所と合同で施設内にシャワー室なども用意する。

## 地域住民との関わり

- ・アートの展示、ワークショップで交流する。

## 実施主体

- ・空間を貸し出し、企業に依頼
  - ・運営で住民、アーティストが関わられるように
- ## 主なターゲット
- ・サイクリスト



## 理科室

### 取り組みの内容

- ・理科室にあるような実験器具を飾りに使い、理科室特有の雰囲気味わうことのできる空間を作る。
- ・実験＝手を使う→木工作品などの簡単な作品制作を体験できる場所にする。



### 利活用する資源、具体的な整備

- ・理科室に実際に過去に使用していた実験器具を並べる。
- ・ワークショップで用いる、制作することができる作品の一部を展示する。

### 地域住民と芸術のかかわり

- ・ワークショップへの参加

### 実施主体

- ・アーティスト

### 主なターゲット

- ・学校特有の雰囲気に惹かれた人、アートに興味がある人など広い層に来てもらう

## ほしぞらワークショップ

### 取り組みの内容

- ・望遠鏡としてそのまま再活用する。
- ・タイムラプス撮影による写真・映像編集で同じところから見たかつての星空を鑑賞できるプラネタリウムの上映。曇天・雨天時も満天の星空を楽しめる空間に。

### 利活用する資源、具体的な整備

- ・中学校校舎の望遠鏡を再び使えるように整備

### 地域住民と芸術の関わり

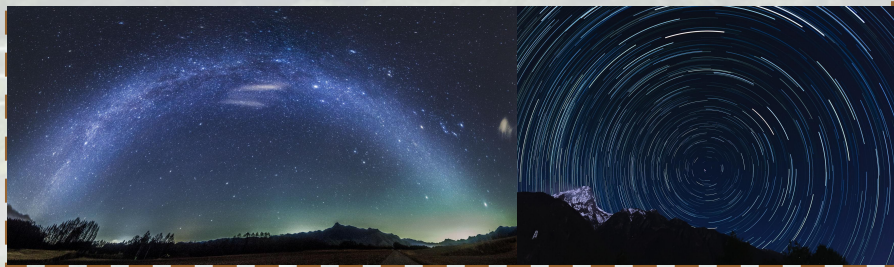
- ・観光客や地元住民の撮影した星空の写真を好きなように貼付できる壁面を用意することで市民参加の機会を創出。

### 実施主体

- ・望遠鏡の管理者：望遠鏡の管理
- ・映像作家：望遠鏡を用いた作品の制作

### 主なターゲット

- ・星が好きな観光客、地元住民







## 4.周辺地区の整備の方針と具体的な活用・連携案

- ・交通アクセス手段の整備
- ・芸術の軸の整備
- ・青根地区でのアートの取り組み
- ・藤野と連携したアートの取り組み



## アーティストのデザインによるバスの運行

### 取り組みの内容

- ・橋本駅から旧青根中・青根地区まで直通するバスを運行する。
- ・観光客やアーティスト、地元住民が利用する。
- ・バスのデザインを旧青根中で活動するアーティストに依頼し、青根地区をモチーフとしたPR力の高いものとする。
- ・運行時間は観光に便利な時間帯に設定し、リニアの到着時間と接続させる。



十和田市における「アートなバス」の取り組みの事例  
 (<https://www.navitabi.jp/article/2627>)

### 利活用する資源、具体的な整備

- ・旧青根中校庭に専用駐車場を整備する。
- ・マイクロバスをラッピング。
- ・三ヶ木青根間のバスの一部の転換を検討。

### 地域住民と芸術のかかわり

- ・公共交通として観光客だけではなく地元住民の足としても利用され、住民がアートに親しむきっかけとなる。

### 実施主体

- ・相模原市：企画、アーティストへ依頼
- ・バス会社：バスを実際に運行
- ・地元住民：デザインの原案を募集する
- ・アーティスト：原案をもとにバスをデザイン

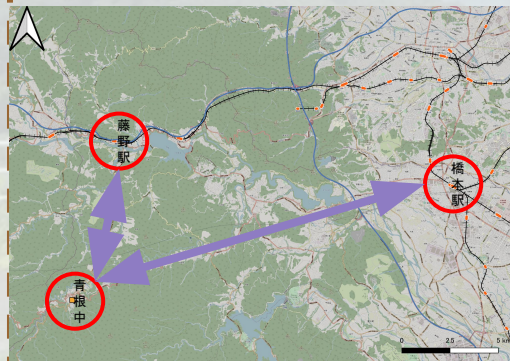
### 主なターゲット

- ・観光客、アーティスト、地元住民

## レンタサイクルステーションの整備

### 取り組みの内容

- ・旧青根中に加え、橋本駅・藤野駅にも乗り捨て可能なレンタサイクルステーションを開設する。
- ・橋本駅⇔青根地区は約25キロ(2時間)、藤野駅⇔青根地区は約10キロ(1時間)程度であり、富士山は遠すぎるが、気軽に自然の中でサイクリングを楽しみたいというライト層のニーズに応える。



←都心から近く、気軽に楽しめるサイクリングルートとなる。スタート地点は体力や好みに応じて橋本駅か藤野駅を選択可能。自転車は乗り捨て可能なため、行きか帰りで橋本へのバスを利用することも可能。

### 利活用する資源、具体的な整備

- ・橋本駅、藤野駅に旧青根中と同様のアーティストのデザインによるサイクルラックを設置。
- ・レンタサイクルの整備は旧青根中に導入する整備場所、機材を用いて行う。
- ・国道413号線、県道76号線において路肩に自転車の通行を示すカラー舗装等を施し、安全な通行環境を整備する。

### 地域住民と芸術のかかわり

- ・サイクリストや観光客が青根地区・旧青根中を来訪するきっかけとなる。

### 実施主体

- ・相模原市: 企画、広報、アーティストへ依頼
- ・アーティスト: 自転車やラックのデザイン

### 主なターゲット

- ・ライト層のサイクリスト



## 藤野地区との間に芸術の軸を整備

### 取り組みの内容

- ・藤野地区へのルートである県道 76号線を「芸術の軸」として整備する。
- ・76号線沿道や近隣の地区にさまざまなアートを設置して、サイクリングやツーリングをしながらアートを巡れるようにする。
- ・「芸術の家」などと合わせて観光客が藤野と青根の双方を周遊することを促進する。



「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事例  
<https://spice.eplus.jp/articles/292889>



### 利活用する資源、具体的な整備

- ・県道76号線沿いに旧青根中や藤野地区でつくられたアート作品を常設する。
- ・整備された「芸術の軸」に沿って芸術祭(後述)を実施する。

### 地域住民と芸術のかかわり

- ・設置する作品はアーティストだけでなく地域住民の意見を聞いて選定することによって、地域に合い、地域に愛される作品になるようにする。

### 実施主体

- ・相模原市: 企画、広報、依頼、藤野との調整
- ・アーティスト: 作品制作
- ・地域住民: 設置するアートの選定

### 主なターゲット

- ・アートに関心のある観光客

## 青根地区内でのアート作品の展示

### 取り組みの内容

- ・旧青根中で制作され展示期間を終えたアート作品の一部をストリートファニチャーやモニュメントとして青根地区内に設置する。
- ・設置する作品は住民の意見をもとに決定する。
- ・旧青根中をアート目的で訪れた観光客が地区の方にも足を運ぶきっかけとする。



空き地への作品設置例  
[https://www2.ashitech.ac.jp/arc/h/ohno/projects/project\\_01/index.html](https://www2.ashitech.ac.jp/arc/h/ohno/projects/project_01/index.html)

### 利活用する資源、具体的な整備

- ・地区内の空地を利用して旧青根中での展示を終えたアート作品を設置する。
- ・青根地区内に設置された作品のマップを制作する。

### 地域住民と芸術のかかわり

- ・地域住民が設置する作品の選定を行う。アートに興味のある観光客が中学校だけではなく地区内も訪れるようになり、交流の機会が生まれる。

### 実施主体

- ・相模原市: 企画、広報、依頼
- ・アーティスト: 作品制作
- ・地域住民: 設置するアートの選定

### 主なターゲット

- ・アートに関心のある観光客



## 藤野地区と連携したアートの取り組み

### 取り組みの内容

- ・藤野地区に居住するアーティストと青根地区に滞在するアーティストの日常的な共同制作。
- ・県道76号線(芸術の軸)沿いで連携した芸術祭を開催する。
- ・青根での創作作品コンテストを藤野で行う。
- ・藤野・青根の共同制作作品などを、県道76号線沿いに期間限定で展示し、それらを巡るツアーを開催する。



←「越後妻有 大地の芸術祭」での作品。十日町市を中心とした里山地域を舞台として、作品展示が行われている。  
<https://www.echigo-tsumari.jp/art/artwork/welcome/>

### 利活用する資源、具体的な整備

- ・藤野地区や県道76号線沿いにある既存のアート関連の施設集積を活用する。
- ・旧青根中を制作拠点の一つとして整備する。

### 地域住民と芸術のかかわり

- ・藤野、青根地区双方のアートが活性化され、観光客が双方の地域を来訪・周遊するきっかけとなり地域活性化につながる。

### 実施主体

- ・相模原市: 企画、広報、藤野との調整
- ・アーティスト: 作品制作
- ・藤野地区のアーティスト: 協同制作

### 主なターゲット

- ・アートに関心のある観光客

## 5.実現に向けたロードマップ



# 実現に向けたロードマップ

旧青根中学校を  
改修して  
アーティストの活  
動場所に

地元住民とアーティストの  
交流・協同

地域住民のアート活動への理  
解・関心を高める

作品展示会  
地区や芸術の軸へ  
の作品設置

継続的な運営

より魅力的な  
青根へ

多くのアーティスト  
が活動し作品制作

藤野地区の  
アーティスト

サイクリストが立ち寄れる場所  
アートに関心のある観光客の来訪  
住民の交流の場

学校の設備の有効活用  
青根中学校から作品が生まれる

県道76号線上で連携  
協同制作や芸術祭等の開催

アートを通じた交流が生まれる